

議会傍聴 ひとこと いんたびゅー



9月定例会は、20人のかたが傍聴されました。
お二人のかたに感想を聞いてみました。



安齋 彰さん
(字釜谷)

町の課題に向けて もっと視野を広く！

◆議会を傍聴されたき
っかけをお聞かせくだ
さい

以前から、議会がど
のような内容や流れで
行われているのに興味
があり傍聴に来ました。

◆一般質問を含めて、
どのような印象を受け
ましたか

初めての傍聴で、比
べどころはありません
が、議員の皆さんは一
生懸命質問しているな
と感じました。町側の
答弁を聞いて、今後ど

のように進んで行くの
か、気になりますね。

◆議会や町政に対する
要望はありますか

様々な課題を抱えて
いる我が町ですが、最
重要課題は人口減の歯
止めでしょう。働く場
所や定住の施策につい
て、色々なアイデア
を持つている町民もい
ます。知恵を聞く場所
の提供や他町の成功例
を参考にするなど、今
できることを積極的に
進めてほしいですね。

◆議会を傍聴されたき
っかけは何ですか

リロナイふれあい学
園の企画で、私自身2
回目の傍聴です。

前回同様、緊張感が
ある中で議員さんは、
しつかりと目的を伝え
ていると感じました。

◆議会や町政に対する
要望はありますか

私たちの世代は、こ
れから迎える老後生活
で冬期間の除雪や介
護・福祉など、色々不
安があります。また、
人口減の歯止めや病院
施設の充実などの要望
もあります。

町政懇談会だけでは
なく、漁・農・商の様々
な現場や人の集まる場
所にどんな出向いて、
町民一人ひとりの生の
声を聞いてほしいと思
います。

町民へのケアと、災
害の少なさや、自然に
恵まれた木古内町の良

さをもっと発信すれば、
定住・移住対策につな
がると思います。

もっと町民の 生の声を聞いて

工藤 公子さん
(字札刈)



編集後記

去る8月20日、札幌市において北海道町村議会議長会主催の議会広報研修会が開催され、木古内町議会、たより123号のクリニックを受けました。クリニックに参加した12町村の中で2番目という高い評価をいただきました。我々担当委員としては、大変な励みとなりました。

今後は、いま以上に町民の皆様の声をいただき、更に一人でも多くのかたに愛読される議会、たよりを目指したいと思っています。

現在、新聞紙上を賑わせているJR北海道は、今や会社存続の危機に追い込まれるほどの大変な状況となっております。

我が町も今後、江差線廃止や並行在来線の第三セクター等の問題が残されており、早急に輸送理念に基づく安全体制を整え、立て直しを図ってもらいたいものです。

議会だより編集特別委員会
副委員長 新井田 昭 男